

ただいま。

大好きな町。

約半年ぶりに見た大槌の町。
地元のひょうたん島をかたどった
新しい駅で撮影をしながら、
大槌の好きな所や、
PR大使としての思いを語る。

どんな街並みよりも大好き

大槌町赤浜に生まれ、現在はモデルとして活躍する東あずささん。今回大槌に帰省した東さんは、ふるさとの景色を目にした安心感を語りました。「沿岸部でもだいぶ復興が進んで、まちが出来てきました。昔とは違うところもあるけれど、やっぱりどんな町よりも大槌の街並みが好きなんですよね。新しいとか綺麗という事じゃなくて、なぜか落ち着く、ほっとするんです。」東京を中心に活動しながらも、生まれ育った地元を愛する東さんは、昨年9月、大槌の魅力発信と、イメージアップなどのため創設された、「三陸♥おおつちPR大使」に選ばれました。その時の喜びは大変なものだったといいます。「自分が生まれた大槌に、何かしたいとずっと思っていて、でも中々できなくて、そんな時にお話を頂いて、ぜひやりたい、と言いました。」

「大槌の海の魅力を全国に伝えたい」

家族が営んでいた漁船に乗り、大槌の海が遊び場だったという東さん。「東日本大震災津波はつらい思い出ですけど、大槌の海には美味しい魚など魅力がたくさんあるし、自分が育った場所です。感謝もしています。PR大使として、この海のことを発信して伝えていきたいし、環境保護などの活動にも何かお役に立てれば。」と決意を聞かせてくれました。

取材の最後には、先月三陸鉄道リアス線の開通とともに開業し

た大槌駅や、文化交流センターおしゃっちを訪れ、「初めて中に入りました。かわいくて素敵な建物！赤浜のひょうたん島だ（笑）。鉄道でこれから大槌にたくさん人が来てほしいですね。私もPR頑張ります。」と約束。「大使の仕事で、大槌に恩返しができたらいいな。もつと若手でもお仕事が出来る様になりたいです。」と語りました。モデルとして、PR大使として、郷土愛にあふれる東さんの今後の活躍から目が離せません。

PROFILE

東 あずさ さん (24)

1994年、大槌町赤浜生まれ。長年柔道で鍛えてきた体を生かし、17歳でモデル活動を始めた。現在は、ブラジリアン柔術のアスリートモデルとして活躍中。2018年、大槌町の魅力を全国に発信する「三陸♥おおつちPR大使」に任命された。

